



Manyosen

## 〈報道発表資料〉

2026年3月

万葉線株式会社

市政記者各位

### 万葉線新型車両導入を決定！

高岡市と射水市を結ぶ万葉線は、両市民の重要な生活路線であり、かつ、両市の魅力あるまちづくりに活用すべき公共インフラです。

しかしながら、現在保有している低床車両アイトラムは、経年による高額部品の交換や IC 回路部品の製造終了等に伴い、部品調達や車両維持費用などの面で課題を抱えています。この課題を解消するとともに、富山県地域交通戦略の基本理念である「ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現」に向けた地域の活力・魅力向上のため、新型車両の導入を決定しました。

新型車両を導入することで、車両維持費用の低減による経営改善と、利用者の安全性の確保と快適性・利便性の向上を図ります。さらには、新型車両を活用した、更なる利用促進と活性化も図っていくことで、地域の皆様からいつまでも愛される万葉線を目指してまいります。



## 1 デザインコンセプト

新型車両のデザインコンセプトは「歴史の継承と未来との融合」です。

地域の歴史と記憶を未来へと繋ぐため、万葉集ゆかりの伝統の色彩を現代の感性で再構築しました。「永遠、記憶、愛」をイメージしたオレンジ色と「穏やかさ、安らぎ、懐かしさ」を感じるクリーム色のツートンを採用し、豊かな自然、歴史、そして地域の人々の活気や賑わいを表現しています。

滑らかな造形と融合したデザインは、沿線を彩る現代の街並みや美しい自然景観と調和し、地域の歴史と共に未来へ力強く走り続けます。

## 2 車両製造 アルナ車両株式会社（大阪府摂津市）

## 3 車両仕様 3車体連接車（3両1編成）

バリアフリー対応低床車

項目	新型車両
構成	3車体連接車
車両寸法 (1編成 長さ×幅：計画値)	16.5m×2.4m
定員	74人（座席30人）
低床率	100%
台車形式	2軸ボルスタレス台車
制御装置	VVVFインバータ制御
ブレーキ制御	電気指令式空気ブレーキ 回生・発電ブレーキ併用

## 4 車両の特徴

- ・ 他の交通事業者でも豊富な導入実績がある純国産の100%低床車両
- ・ 既存のスタンダードな技術の採用で走行安定性、メンテナンス性を向上
- ・ 通路幅を現行より約9cm拡大（82cm）し、車内移動の円滑化を実現
- ・ 足元空間を広げたロングシートの拡充と、一人当たりの座席幅を確保したクロスシート（横座席）により居住性を向上

## 5 導入数 全6編成（現行の低床車両アイトラム全数を順次更新します。）

## 6 投資額 約19.2億円（6編成合計：税別）（内訳：約3.2億円/編成×6編成）

## 7 導入スケジュール

2027年度（2028年2月予定）から2032年度にかけて、以下のとおり段階的に導入します。

- ・ 2027年度 2編成
  - ・ 2029年度～2032年度 1編成/年
- ⇒計6編成

以上

### 【お問合せ】

万葉線株式会社 運輸部 運輸管理課  
(0766) 25-4139